

災害情報研究会 H28 年度 第 4 回議事録

1. 日時 : 2016 年 7 月 15 日 (金) 15:30~17:00
2. 場所 : エッサム神田ホール 1 号館 (東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2)
3. 進行 : 市川座長 (レスキューナウ)
4. PC : 市川座長 (レスキューナウ)
5. 記録 : 南部 (清水建設)
6. 出席者 (10 名: 敬称略・順不同)
市川 (レスキューナウ)、高橋 (インフォコム)、橋元 (清水建設)、
野田 (アジア航測)、東根 (建設環境)、中村 (個人)、上倉 (セノン)、
高木 (富士通エフサス)、砂原 (富士通総研)、南部 (清水建設)

7. 実施内容

(1) 新しいメンバーの紹介

- ・砂原 健利さん (富士通総研)

(2) 合宿の実施について

- ・講師 (岩沼市職員) への質問・要望があれば、早めに高橋さんへ。
- ・1 日目の昼食は現地の適当な飲食店でとる予定なので、持参不要。

(3) アクションカードの編集作業

■アクションフロー図 a26「消火・救護・避難活動の実施」の見直し

- ・フロー全体図の a26 の記述を修正: アクションフロー図のタイトルに合わせて「~~脱出~~消火・救護・避難活動の実施」とする。
- ・内容説明の適正化: 「現地社員対応者は、現地社員 (第一発見者等) からの出火、負傷者などの発生報告を受け、消火・救護・避難活動を実施し、状況を現地対策本部長に報告する。」
- ・フロー図中央の主担当の適正化: 「自衛消防隊、防火管理者、防災管理者、安全監理者」を削除し、その記録として「現地社員対応者」の枠の外に仮置きする。最後に全体を通して見直す際に、再検討する。

■上記の過程で、エクセルの災害情報項目 i21「自社被害状況」の見直し

- ・表の書き方において、FROM の丸数字項目と HOW の丸数字項目とが、同じ丸数字項目同士で一対一に対応する必要はない、ということを確認した。
- ・FROM の⑤として「現地社員対応者 (第一発見者等)」を追加。
- ・HOW の⑥として「口頭、無線、電話、施設管理モニタ、点検目視」を追加。

■アクションカード A-26「消火・救護・避難活動の実施」の見直し

- ・内容説明の修正: 「現地社員対応者は、現地社員 (第一発見者等) からの出火、負傷者などの発生報告を受け、消火・救護・避難活動を実施し、状況を現地対策本

部長に報告する。」

- ・No1： 手順「現地社員（第一発見者等）から自社被害等（出火・転倒・倒壊・負傷者など）の報告を受ける。」 方法「口頭、無線、電話、施設管理モニタ、点検目視」
- ・No2： 手順「現地社員対応者は消火・救護・避難活動を実施する。」 方法は空欄。
- ・No3： 手順「現地社員対応者は消火・救護・避難活動の状況を現地対策本部長へ報告する。」 方法「口頭、~~携帯電話~~、電話、無線等 ~~施設管理モニタ、点検目視~~」
- ・No4： 手順「自社被害状況（出火・転倒・倒壊・負傷者など）を現地災害対策本部長へ報告する。」 方法「口頭、無線、電話、施設管理モニタ、点検目視」

■上記の過程で、i60「消火・救護・避難活動と被害の状況」の修正

- ・被害は i21 に有るので、i60 に含める必要はない。情報項目を「消火・救護・避難活動と被害の状況」へ修正。
- ・該当箇所は、アクションフロー図の a26 内、エクセルの災害情報項目の i60、同アクション項目の a26。

8. 次回研究会（合宿）

- ・日時：平成 28 年 8 月 1 日（月）～2 日（火）
- ・場所：岩沼市・みんなの家
- ・議題：アクションカード A-27 以降の編集作業を実施



平成 28 年 7 月 15 日 災害情報研究会

以 上